

平成29年4月24日（月）その10 The Next One（次の作品です！）

いよいよ4月も最後の週となり、沖縄ではもうすぐ梅雨の季節を迎えます。私たちは農業をやっていないので雨のありがたさは考えず、「梅雨どきは、じめじめ蒸し暑くて、イヤだなあ！」なんて思うこともありますね。沖縄のダム貯水率は50%を切っています。万物に恵みの雨をもたらす梅雨に、感謝する気持ちも心の片隅に持っておきたいものです。雨の日は雨を楽しむくらいの気持ちを持ってほしいものです。

さて、研修生の皆さんの研修日誌を読んでもみると、一生懸命いろいろなことを研修していることがよくわかります。今後も指導主事や指導講師の先生方の指導助言を受けながら、頑張りたいと思います。第一週分の日誌を読んだとき、全員の日誌に「The next one.」と、コメントを入れました。

どういう意味か、わかりますか？

若い頃、床屋で自分の番を待っている間に週刊誌をパラパラめくっていたら、チャールズ・チャップリンのことを書いた小さな囲み記事が目に入りました。無声映画の「モダンタイムズ」「黄金狂時代」などのあのチャップリンです。ある新聞記者が彼に、「これまでにいくつもの大ヒット作がありますが、あなたの代表作は何ですか？」と、たずねたそうです。すると彼は間髪を入れず、「The next one.」（次の作品です。）と答えたというのです。

私はこの短い話を読んで大変感動しました。「すごいな、私もこうありたいな！」と思いました。以来、この言葉は私の心の中に刻み込まれました。

新採用の船浮中の2・3年目は、中学生が一人だけでした。私は採用4年目に、生徒数1,200人のA中に転勤することになりました。私は高校・大学時代は那覇に住んでおり、補充教員も那覇地区での体験だったので、島尻地区の中学校は、敷地内に入らなかったこともなく、全く知りませんでした。

赴任してみると、「東のB中、西のA中」とささやかれ、A中は当時、生徒指導の困難校として島尻地区では横綱級であることがわかりました。

私はいきなり3年生の担任になりましたが、さんざんな学級経営をしてしまいました。生徒指導の力が十分でなく、問題傾向のある生徒達をうまく指導できなかったのです。一部の生徒達の指導に手こずり、まじめに頑張っていた生徒達をもっと伸ばしてやれなかったことへのすまなさやくやしきで、卒業式の日には涙がこぼれました。

学級経営や教科指導、部活動の指導等で教員としてようやく自信めいたものが生まれてきたのは、A中勤務5年目の頃でした。「The next one.」（次の作品です。）という言葉に出会ったのは、その頃でした。

「仕事が人を育ててくれる。」という言葉がありますが、私は管理職になる前に多くの主任を体験しました。進路主任、研究主任、生徒指導主任、学年主任、教務主任などです。教員としての実践を一つ一つ積み重ねながら、いつも「The next one.」（次の作品です。）という言葉で、思い出していました。過去の栄光にしがみつかずに、常に変化して新しいものを取り入れ、ワンステップ上の実践を積みあげるよう心がけてきたつもりです。

皆さんも10年以上実践を積んできて、自慢できることの2つや3つはあるものと思いますが、チャップリンの「The next one.」（次の作品です。）の精神で、島尻教育研究所での6か月間を頑張りたいと思います。

4月26日（水）その11 梅雨と水に関する鼻高な話

いい肌持ち^むで一びる。最近知花局長からすてきな言葉を教えてもらいました。首里方面の方言だそうです。「暑くもなく寒くもなく、肌がさらさらとしているいい季節です。」という意味だそうです。今の季節にぴったりの言葉です。首里は琉球国の首都でしたから、上流階級で繊細な表現の敬語が発達したのでしょう。

さて今回はイントロ程度に「梅雨」の話をしてしまいましたが、今日はメインディッシュです。なぜ北海道や小笠原諸島に梅雨がないのですか？またどうして東アジアにだけ梅雨があるのですか？

おそらく日本人の10%も知らない、ちょっと鼻高なお話です（笑）。

ジェット気流を知っていますか？上空5千メートルくらいの所を流れる強い偏西風のことです。蛇行しながら西から東に吹いていて、北半球の日本付近では春から夏にかけて北上し、秋から冬にかけて南下するそうです。

梅雨の前に北上するジェット気流は、ヒマラヤ山脈にぶつくと二つに分かれます。ヒマラヤ山脈は8千メートル級の山が14座もあるからです。その分かれたジェット気流が北海道の東側で再びぶつかり、高気圧が発生します。オホーツク海高気圧といいます。一方夏になると南の方から、太平洋高気圧が北上してきます。この2つの大きな高気圧がぶつかり、押し合いへし合いして前線ができて雨が降る。これが梅雨なのだそうです。日にちが進むと、偏西風が北上するため、前線も北上します。しかしジェット気流がヒマラヤよりも北に来ると、障害物がないのでジェット気流は一本のままで流れるのでオホーツク海高気圧は発生しなくなります。その場所が、ちょうど北海道付近なのだそうです。だから梅雨前線が消滅し、北海道には梅雨がないのだそうです。また南からの太平洋高気圧は、小笠原諸島付近では強く張り出すので、そこには梅雨前線ができないのだそうです。

ところで皆さん、沖縄で使われる水は一日にどれくらいの量か知っていますか？44万トンだそうです。沖縄の人口は年々増え、現在では140万人を超えています。平成の初め頃までは、「断水」することが頻繁にありました。人口が増えているのに、なぜ断水しなくなったのでしょうか？

理由は二つあります。一つはやんばるに大きなダムが次々に整備されたからです。辺野喜ダムなど北部にある5つのダムの水は、「水路トンネル」で一番大きな福地ダムに流れ込むようになってきているそうです。沖縄の一日の使用量の80%がダムからの取水のようです。

もう一つの理由は、北谷町に「海水淡水化センター」が作られたことです。一日に4万トンの水を作っているそうです。これは一日の使用量の10%で、残りの10%を地下水等でまかなっているそうです。県企業局は、「今後は個人住宅に水タンクを作らなくてもいい。」と、胸を張っていました。

ちなみに八重瀬町と南風原町は、南部水道企業団という公共企業が県企業局から水を買ひ、地下水とブレンドして供給しているそうです。以前は大里村も入っていたそうですが、南城市に合併したため抜けたそうです。県企業局や南部水道企業団に電話をして、聞いたんですよ。主体的・対話的で、深い学びですねえ～（笑）。

ガッテンしていただけたでしょうか？（ガッテン、ガッテン!!）

4月27日（木）その12 国民の祝日の意義を子ども達に教えよう！

26日（水）は、南城市立馬天小での特別支援教育に関する所外研修でした。お忙しい中、新垣校長、高木教頭にご対応いただきました。大変ありがとうございました。新垣校長は、公立小中学校における特別支援教育の第一人者です。「障害者の権利に関する条約」、「インクルーシブ教育システム」等についてのご講話をいただき、島尻特別支援学校分室や馬天小特別支援教室等での「多様な学びの場」、「ユニバーサルデザイン」、「合理的配慮」等の実際を見せていただきました。皆さん、勉強になりましたね。

さて、29日（金）からいよいよお待ちかねのゴールデンウィーク（GW）が始まりますが、昭和の時代は、今のように休日は多くありませんでした。

皆さんは「半ドン」という言葉を使ったことがありますか？私が小中高時代の土曜日は、12年間ずっと給食なしの午前中授業の日でした。平成4年（1992年）9月から第二土曜日（1995年）4月から第4土曜日（1998年）も休みになりました。そして平成14年・2002年から、学校が完全週休2日制になりましたね。

昔はゴールデンウィーク（GW）も飛び石連休になることが多かった。5月4日が普通の日でしたから、5月3日（憲法記念日）、5月5日（こどもの日）の曜日の並び方に、一喜一憂したものです。その解消・改善をのぞむ国民の声に応える形で、昭和60年・1985年に「国民の祝日に関する法律」が改正されました。5月4日を想定して、「祝日と祝日の間に挟まれた日」を「国民の休日」とすると決め、昭和63年・1988年から5月3～5日は、必ず3連休になりました。

その後さらに、3連休を作り、国民に余暇を有効に活用してもらいたいという趣旨で、平成10年・1998年に「国民の祝日を改正する法律」いわゆる「ハッピーマンデー法」ができ、「海の日」、「敬老の日」、「体育の日」、「成人の日」が、第二月曜、第三月曜のような指定に変わりました。

また平成19年・2007年にも法律が改正され、4月29日は「昭和の日」に、4月29日だった「みどりの日」は、5月4日に異動となりました。国民の祝日は、16日あります。はい、すべて言いなさい！（笑）

国民の祝日とは、「自由と平和を求めてやまない日本国民が、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、国民こぞつて祝い、感謝し、又は記念する日である。」という意義があります。

GWには4つの祝日があります。まず「昭和の日」（4.29）「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。」、憲法記念日（5.3）「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。」、みどりの日（5.4）「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ。」、こどもの日（5.5）「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」です。

私は校長時代には機会を捉えて、学校便りなどにまとめ、担任に子どもたちに国民の祝日を教えるよう指示をしてきました。単なる「休み」ということだけが頭にあり、祝日の意義を知らずに、もしかしたら何の日なのかも知らずに、子どもたちが育っているのではないかと、危惧しています。皆さんも学校に戻りましたら、ぜひ意義を教えてあげてください。